

HOME	倉敷JCとは	スケジュール	青年会議所とは	事業・活動報告	入会案内	メンバーズサイト	リンク
------	--------	--------	---------	---------	------	----------	-----

岡本理事長の活動軌跡

第56代理事長岡本大輔の ブログ

第56代理事長所信

2011年度倉敷JC基本方針・スローガン

賛助企業一覧
がんばろうNIPPON
がんばろうNIPPON

[過去事業ページ](#)

社団法人 日本青年会議所

社団法人 山形青年会議所
倉敷市

岡山NPOセンター

倉敷体験プログラムひやさい

アクセスカウンタ

今日 :	3
昨日 :	0
今週 :	3
今月 :	5
總計 :	3 2 3 5 6
平均 :	2 0

お知らせ

2012/01/05 : 新年あけまして、おめでとうございます。

2011/12/31 : 今年一年ありがとうございました。

2011/12/28 : 12月理事長活動記録を掲載しました。

2011/12/20 : 倉敷JC情報局「くら・ブレ」総集編放送のご案内

2011/12/06 : 11月理事長活動記録を掲載しました。

MORE

第56代 岡本理事長ブログ

2011/12/31 : 1年間お世話になりました。そしてありがとうございました。

2011/12/30：理事長任期満了まであと1日！

2011/12/27：理事長任期満了まであと5日、

2011/12/23 : JCメンバーが「シチズン・オブ・ザ・イヤー」で表彰!

2011/12/23 : 2012年度前期新会員オリエンテーションの講師は！

倉敷青年会議所 ひやさいブログ

2011/11/18 : 心をつなぐ倉敷ドミノ

2011/11/18：木星鑑賞会

2011/11/15 : 倉敷bar体験

2011/11/15：美味しいキムチを作ろう！

2011/11/15 : 備中和紙で小物づくり

活動スケジュール

2017年 12月 移動

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

● 活動アルバム

2009年の事業 2008年の事業 2007年の事業 2006年の事業 どんご事業
倉敷小町コンテスト

[↑ ページのトップへ](#)

コンテンツ一覧

HOME	倉敷JCとは	スケジュール	青年会議所とは
事業・活動報告	入会案内	メンバーズサイト	リンク
情報公開	50年の歴史	第56代理事長 所信	過去のページ
賛助企業一覧	賛助企業募集	プライバシーポリシー	お問い合わせ

検索



HOME	倉敷JCとは	スケジュール	青年会議所とは	事業・活動報告	入会案内	メンバーズサイト	リンク
------	--------	--------	---------	---------	------	----------	-----

倉敷JCとは

基本資料

- >> スローガン・基本理念・基本方針
- >> 第56代理事長所信
- >> 倉敷JC組織図
- >> 役員・常任理事・委員長・議長・出向者名簿
- >> 基本資料ダウンロード

情報公開

- >> 定款
- >> 要覧
- >> 部と同好会

55年の歴史

- >> 50周年の歴史
- >> 初代～第25代理事長
- >> 第26代～第50代理事長
- >> 第51代～ 理事長

2011年度スローガン

Think globally Act locally

～自らの壁を壊し、この倉敷(まち)に尽くそう～

倉敷ってどんなところ？

- 倉敷市
- 倉敷観光コンベンションビューロー
- 倉敷観光ホームページ
- おかやまあるくナビ
- 倉敷市文化振興財団
- 倉敷市国際交流協会
- 倉敷市立美術館
- 自然史博物館
- 倉敷科学センター
- 倉敷公民館音楽図書室
- FMくらしき
- 倉敷ケーブルテレビ
- 倉敷商工会議所
- 倉敷まちづくりネットワーク
- 岡山県郷土文化財団
- くらしきTMO
- 倉敷税務署
- 倉敷警察署
- 倉敷消防署

🏠 ページのトップへ

コンテンツ一覧

HOME	倉敷JCとは	スケジュール	青年会議所とは
事業・活動報告	入会案内	メンバーズサイト	リンク
情報公開	50年の歴史	第56代理事長 所信	過去のページ
賛助企業一覧	賛助企業募集	プライバシーポリシー	お問い合わせ

社団法人 倉敷青年会議所

〒710-0824 倉敷市白楽町249-5 4階
TEL：086-421-9566 / FAX：086-421-3454
e-mail：post@kurashiki-jc.or.jp

(C)Copyright 2010 Kurashiki Junior Chamber,Inc. All Rights Reserved.

賛助企業一覧
がんばろうNIPPON
がんばろうNIPPON

アクセスカウンタ

今日：**3**
昨日：**0**
今週：**3**
今月：**5**
総計：**32356**
平均：**20**



HOME	倉敷JCとは	スケジュール	青年会議所とは	事業・活動報告	入会案内	メンバーズサイト	リンク
------	--------	--------	---------	---------	------	----------	-----

スローガン・基本理念・基本方針

● スローガン

Think globally, Act locally 自らの壁を壊し、この倉敷(まち)に尽くそう

● 基本理念

小さな世界に止まることなく広く考え学び、感謝とOMOIYARIある利他の精神を持って愛する郷土のために尽くすことで、地域に必要とされる真のリーダーとしてのPOSITIVE CHANGE(より良い変化)へと発展させよう。

● 基本方針

人材育成室…自らを律し、利他の精神を持った人材育成の創造
郷土活性室…環境運動とまちづくり運動を通じた郷土の活性
会員開発室…地域に必要とされるリーダー育成と「過去・現在・未来」をつなぐ進化と継承
総務情報室…POSITIVE CHANGEを追求する情報発信と組織運営の実践

賛助企業一覧

がんばろうNIPPON

がんばろうNIPPON

アクセスカウンタ

今日：**3**

昨日：**0**

今週：**3**

今月：**5**

総計：**32356**

平均：**20**

[🏠 ページのトップへ](#)

コンテンツ一覧

HOME

事業・活動報告

情報公開

賛助企業一覧

倉敷JCとは

入会案内

50年の歴史

賛助企業募集

スケジュール

メンバーズサイト

第56代理事長 所信

プライバシーポリシー

青年会議所とは

リンク

過去のページ

お問い合わせ

社団法人 倉敷青年会議所

〒710-0824 倉敷市白楽町249-5 4階

TEL：086-421-9566 / FAX：086-421-3454

e-mail：post@kurashiki-jc.or.jp

HOME	倉敷JCとは	スケジュール	青年会議所とは	事業・活動報告	入会案内	メンバーズサイト	リンク
------	--------	--------	---------	---------	------	----------	-----

第56代理事長 所信

賛助企業一覧
がんばんろうNIPPON

第56代理事長 所信

賛助企業一覧

がんばろうNIPPON
がんばろうNIPPON

アクセスカウンタ

今日：	3
昨日：	0
今週：	3
今月：	5
総計：	32356
平均：	20

はじめに

学生 の頃から新しいものに触れることが好きだった私は、故郷を離れ大学に進学し、在学中の留学や卒業後の旅行会社や商社での勤務を経て、20カ国以上を渡り歩き、その先々で様々な人々や文化に出会い、少しずつ影響を受け続けながら自分というものを形成してきました。そして2004年1月に倉敷JCに入会し、今まで経験したことのない衝撃を受けることになります。これまで私が受けてきた何倍もの影響がJCの出会いと学びの中から、濃くそして深く浸透し、心に響いた言葉がいつの間にか自分の言葉となり、気持ちとなって、確固たる信念へと変わっていったのです。

「Think globally Act locally」

私はこの言葉をJCに入会後、JCの公認プログラムである「国際アカデミー」に参加して知り、そして降私の行動規範の一つと捉えています。

色々な意味に解釈することが出来ますが、私は限りなく直訳に近く

「Think globally」＝「考え方は広い視野を持ってグローバルに」
「Act locally」＝「行動は自分たちの身近な郷土から」

小さな世界に止まることなく、自らが知らない間に作ってしまった壁を壊して視野を広げる。そして出会いや学びから得た気づきを成長へと変え、ただの評論家で終わることなく、感謝とOMOIYARIある利他的精神で、育ててもらった愛する郷土のために率先して行動をおこなす。このような想いを持って、55年の歴史を持つ倉敷JCの舵取りをさせていただこうと考えております。

愛すべき誇りある郷土のために

サッカーワールドカップ2010、日本中が熱狂し、普段サッカー観戦をしない人々も自然と我が国日本を応援する。高校球児達が集う甲子園、地元チームの勝敗がつい気になってしまいう。我々が当然のように持っている郷土愛や帰属意識、私がこれらを意識しはじめたのは、大学在学中にニュージーランドのクライストチャーチに留学した時からです。ホームステイ先のファミリーが、屈託なく家族や自分たちの住むまちを誇らしげに話し、郷土愛溢れんばかりに文化や歴史を教えてくれる一方、その時の私には家族や倉敷について彼らのようにそれほど熱くは語れない人間でした。それから日本を離れたからの時間が経つにつれ、いつの間にか今まで意識してい

なかった、家族への感謝の気持ちや生まれ育った故郷への愛情の芽生え、自分は日本人であり、まちがいなく「倉敷人」であるというアイデンティティーの確立、そして同時に自分自身の育ったまちについてあまりにも無知であったという気づきを得ることになったのです。江戸時代より幕府直轄の天領として栄え、明治から昭和にかけては大阪屋三郎、総一郎という偉大な二人の先人の功績により、倉敷は産業都市そして日本有数の文化観光都市として発展したことはご周知の通りです。しかしながら、この誇りある郷土も、中心市街地に関しては、倉敷チネリ公園開園による観光客の減少や、それに伴う駅ビル高層部の撤去をはじめとする更なる空洞化が懸念され、その打開策として期待される、2011年冬にチネリ公園跡地に誘致予定のショッピングセンターやアウトレットモールなどの大型商業施設も、既存デパートや商店街との関係などの課題があります。また経済状況に関しても、「コンビニがぐくしゃみをしたら、倉敷市が風邪をひく」と言われるほど、水島コンビナート企業の影響が大きく、リーマンショック以降未だ先の見えない不況による企業の業績悪化に起因する市の税収の落ち込みなど、多方面において問題は山積です。

当然我々の所属する企業も例外ではなく、周りからすれば、「JCで地域の未来を考える前に自分の会社の未来が先だ」と思われる人があるのも当然であるし、本来なら自分たちの社業に全力で取り組まなければ、乗り越えられない危機的状況下であるのは間違いないと思います。しかしながら、今の時代を嘆くばかりで状況を客観視し、誰かのせいにするだけでは何も変わることはありません。我々がやるべきことは、誰かがやってくれる、行政がやってくれるという他人事の意識から脱却し、未来の倉敷に対して最も影響を与える世代である我々が問題意識を持ち、誇りある郷土を最大限に輝かせる使命を課せられていると自覚を持つことです。育ててもらった郷土が輝き発展することは、我々の経済活動の発展にもつながり、そして我々自身の成長へとつながっていきます。

そのためには、まずはこの愛すべき誇りあるまち倉敷をもっともっと深く知ることが大事であり、その深く掘り下げた倉敷の魅力や、内外に向けて発信する運動を展開していく必要があります。JCだけの自己満足ではなく、行政はもちろん、それぞれの分野を得意とする他団体、想いはあっても行動に移せるだけの組織力をもたない市民の方々と協働し、またJCの最大の特権であり強みでもある、企業を代表する経済人としてのネットワークと行動力を武器に、愛すべき誇りある郷土のために尽くしましょう。

地域に必要とされる真のリーダーとして

JCの存在意義であり、地域や会員を輩出している企業が最も期待していることの一つに、魅力ある真のリーダーとしての人材を、継続的に地域や企業に送り出していくことが挙げられます。私は入会以来、JCの多くの出会いの中で、確かな見識と揺るぎない信念を持ち、時には本気でぶつかり合いながら、地域のために尽くすことに努力を惜しまない、素晴らしい人たちに、背中を見せ続け真のリーダーと呼ぶにふさわしい人たちを数多く見てきました。しかしながら、組織である以上、全員が最初から同じレベルのモチベーションを保てるわけではなく、残念なことに世間一般のJCに対する評価もすべてが高いいものばかりではありません。JCに対して少なからず向けられる批判はJC創成期から受け継がれてきた、組織の普遍的な理念や運動そのものに対するものではなく、我々個人個人の行動が社会から見られ、JC内部にしか通用しない無責任な行動を時としてとることの結果、組織や送り出してもらっている企業にも泥を塗るリスクがあるということ

を、我々は真摯に受け止め、理解しなければなりません。ある歴代会頭の所信で「今の我々にとって一番大切なものは、己を律することである。」「自分を知ることから始まる。そして自分の足元になぎに気づいて初めて、指導者として社会と向き合う資格を有するのではないか。」という言葉を記しています。自分というリーダーがいて自身を客観的に見つめた時、もう一人の自分はそのリーダーに心からついて行くことが出来るだろうか、自分自身がついて行けない人間に人とはついて来ない、自らを律すること、それは容易なことではありません

が、我々はそれぞれの企業の看板を背負って、そして従業員や家族の支えによってこの厳しい経済状況の中ですばらしいJC活動が出来ているということこそを再認識し、行動する必要があると思います。また、優れた人材を地域や企業に還元するためには、その原石である新しい仲間を継続的に発掘し、育成していくことが重要であることは言うまでもありません。前述の通り、我々の企業にも例外なく押し寄せる不況の波により、中小零細企業にとっては柱となる人材を送り出すことは簡単なことではなく、将来を見据えた先行投資にふさわしいかどうか判断基準になります。そのためには我々自身が真のリーダーとして成長し続け、自らの身を持つて広告塔となる必要があります。自身の成長なくして説得力は生まれず、組織を熱く語るはるはずありません。会員拡大も会員研修も、つまりは各々が自らを律することから始まり、自分の足りなさから逃げることなく、地域に必要とされる真のリーダーとなるべく挑み続けることで成功すると言えます。

OMOIYARIの心と子どもたち

我々の子どもの頃と比べ、現代の子どもたちを取り巻く社会環境はハード及びソフト面においても大きく変容を見せています。確かに我々の時代もいじめや不登校、校内暴力などは今と変わらずありましたが、現代のように携帯電話やインターネットで情報が氾濫し、簡便的で実感のない無機質な言葉の暴力や、子が親をそして親が子を平気で傷つけるといった問題が頻繁に報道される様子は、多くの会員が子を持つ親である我々にとっても問題を直視し、解決しなければならぬ最も大きな課題の一つです。

「思いやり」＝「OMOIYARI」として2006年に日本JCの委員会に出向した時にこの言葉を世界に発信する運動に携わりました。OMOIYARIは利他的精神に代表される日本人が古来から継承してきた道徳観であり、「相手の立場や気持ちを理解しようとする心」という意味を持つこの言葉を伝播し、日本固有の世界に誇れる精神文化をもつJCから民間外交として世界平和の実現を目指すという大きな運動でありました。しかしながら、本来日本人にとっては当たり前にあったこの言葉は、今では世界に発信する以前に、まずは我々自身そして、我々の子どもたち、身近な地域の子どもたちに今まさにあらためて伝えなければならぬのではないのでしょうか。

相手の立場や気持ちを理解するためには、子ども同士が、子どもと大人が、そして子どもと地域がもっと近くで関わり、バーチャルな世界ではなく、自然の中で、顔の見える世界で触れ合う必要があります。過度のプライバシーの偏重や閉った個人主義の蔓延で失いつつある家族や地域のつながりを元に戻さなければなりません。教育をすべて学校に任せ、問題が発生すれば非難したり、現代の社会環境に責任を転嫁するのはではなく、家庭、学校、そして地域がネットワークを構築し、わが子はもちろん、コミュニティ全体の規範意識を育てることが必要です。子どもの頃、悪さをしたら誰の子どもだろうとげんこつで吃てくれた近所のおじちゃん、今ではあまり見かけなくなっような気がします。

OMOIYARIある子ども達を育むため、我々自身が思いやりを持って、地域に深く関わることからまず始めてみましょう。

企業人として一人ひとりから実践する環境運動

地球規模で環境について考えると、問題は多岐に渡り、地球温暖化やオゾン層の破壊、干ばつや豪雨などの天災、絶滅の危機にある生物の問題、また広い意味で農薬や化学肥料による食物汚染なども含めれば、数え切れるものではありません。

継続は力なりがこの問題には特に重要であり、一朝一夕に解決出来ることではなく、まずは我々が意識変革を行い、一人ひとりから実践出来ることを行っていくことで説得力が増し、無関心である人たちに波及させていく運動が必要で

あるは、倉敷市は環境最先端都市「グリーン自治体」を目指し、他自治体に先駆けて廃棄物削減のために、環境に配慮した事業所を認定する制度を立ち上げるなど、積極的な啓蒙活動を実施しており、そのため環境問題に携わる課の職員の人たちは、率先してマイ箸を持ち、レジ袋ももらわないように徹底されています。その反面全く関わりのない課の人たちにはまだまだほとんどその意識が育かれられないのも実情です。JCも同じで、担当する委員会だけの取り組みや、単年度制で担当が変われば、意識が低下するのでは全く意味を成さないでしょう。最初は立場や担当で始まった意識変革を、信念を持って継続するという、一人ひとりから実践する環境運動がまずは我々が踏み込むべき第一歩です。

そして、人類の経済活動の結果として環境破壊が行われているという事実を企業人としても認識し、個人から企業レベルへ、そして企業と行政をつなぎ、個と公が調和して初めて地域レベルの運動へと展開させることができます。自らが意識を変え、速い世界や未来の話ではなく既に我々の身近で起こっている環境問題に対して、あまりにも無関心で他者依存型の世代に対して、JCとして考えるきっかけを与える運動を継続的に行うことが我々の責務です。

また、環境運動の啓蒙を発信するだけではなく、実際に災害が発生した時こそ、JCのネットワークと組織力の真価を問われる時でもあります。岡山ブロック協議会が作成したJC版の災害対策ネットワークマニュアルは存在しますが、机上の空論にならないよう、有事の際に実際に効力を発揮するだけの体制を整えておく必要があります。

ローカル・マニフェストの推進

市民が政治選択を政策本位で能動的に行う有効な手法として、倉敷JCは2004年の市長選挙以来、首長選挙及び国政選挙において、マニフェスト型公開討論会や検証評価大会を中国地区内の先駆者として実施してきました。日本JCが数年前にわたり提唱している全国的なマニフェスト推進運動の成果もあり、その手法の認知度は確実に高まりつつありますが、市民の政治への無関心を払拭するためには、さらなる継続的な運動が求められています。一人の市民として、有権者として我々JA YCEEが、選択基準であるローカル・マニフェストを推進し、地域の将来を自らが主体的に政策で判断し選択するという市民参画意識を向上させる機会を、公正中立な立場で作り続けることが必要であり、市民と地方自治をつなぐ一つの社会変革運動として捉えていきます。

新たな飛躍と積極的な情報発信

公益法人制度改革に伴う組織の法人格移行の選択が余儀なくされる中、倉敷JCは2006年度の定時総会における公益社団法人格取得の決議を受け、それ以降の対応として、事業仕分けによる公益性の確認、会計や定款の直し等を順次進めてきました。この制度改革への対応は、ただ単に法人格取得を目的として、型にはめる技術論による組織改革であっては視野を狭め、JCの持つ運動の独自性を失うだけでなく本来転換になりかねません。公益社団法人格取得後、より公益性と透明性の高い地域にだけではない団体として、組織を再構築する手段として捉えることで、初めて意味を成すのです。

組織の新たな飛躍への手段の一つとして、2011年度、公益社団法人への移行申請を行います。

また、不特定多数の市民や地域に運動を波及させるための情報発信の方法は多様化し、チラシや情報誌などの紙媒体や、ホームページやメールマガジンは、そしてラジオ番組等、我々は様々なツールを活用してきました。地域メディアとの関係強化はもちろん、新たな媒体にも挑戦しながら、ただ情報発信するだけでなく、市民や地域のニーズを吸い上げる双方向のコミュニケーションシステムの構築も目指します。

進化と継承のバランス

1956年の設立以来、倉敷JCは、その時代時代で手法は変えながらも、普遍的な理念である「明るい豊かな社会の実現」のために、変革の能動者として常に果敢に挑戦し続けてきました。JCは単年度制であるがゆえに、常に組織が若さを維持し刷新力が必要とする事業には効果も最大限に発揮出来ますが、持続力が必要とする事業すなわち1年では完結することが出来る、検証評価を繰り返しながら精度を高めていく継続性を伴う事業ではその欠点が顕著に現れてしまいます。過去・現在・未来をつなぎ、進化と継承のバランスを保ちながら、変えなければならないもの、変えてはいけないものを見極めることが求められています。過去を尊重しながらも、「今までこうだったから」「例年と同じように」では新しいものは生まれませんし、過去にこの結論に達するまでの過程を全く検証せずに、無責任に受け継いでも受け継がれてきた大切なものを失ってしまいます。

これは企業活動においても同じであり、過去の業績の栄光から脱却できず変化への対応が遅れてしまえば命取になり、反対に目先の利益のために、信用や理念がぶれてしまったり、削ってはいけなコストに手をつけてしまえば、お客様からの信用を得ることは出来ないでしょう。進化と継承、革新と伝統のバランスを保ちながら、青年としての英知と勇氣と情熱を持って、新たな56年目の挑戦としてスタートしましょう。

人の和から成る組織の力

天の時、地の利、人の和、この三つの要素が揃った時、物事は必ず成功へ導かれるといわれています。そして組織に関しては何より人の和が如何なる場面においても必要不可欠であることは間違いありません。JCは縦のラインと横のつながりから成る組織であり、それぞれに明確なミッションが課せられ、役割を演じていくことになります。命令系統が確立された縦のラインは確固な信頼関係をベースにミッションを遂行していきりますが、委員や会士分散され、組織の力は十分に発揮されないでしょう。

JCには控え選手はおらず、役職の有無に関わらず全員がレギュラーであり、それぞれが役割を演じながら、一つの目標に向かって突き進むことでチーム全体の強さとなります。チームワーク、ありふれた言葉ですが、様々な業種の経済人から構成されるこの組織は、得意分野は誰かを支え、そして苦手分野も力を発揮することが出来るのです。100名を超えるメンバーの人の和が成された時、最大限に力を発揮することが出来るのです。

グローバルな出会いと学びを求めて

JCに入会してまず感じたことは、同世代に本当に凄いい人たちがいるということです。この倉敷に、全国のまにに、そして世界中に熱い想いと信念を持った同志がいて、それぞれの地域で本気で活動をしているのです。JCでの出会いは断然だけでなく、自らが壁を作らず受け入れることが出来れば、無限の可能性を秘めています。我々限定に不出いや学びを求めてほしい。日本JC・地区・ブロック協議会への出向や、姉妹JCである山形JC・ハイホーホル日系人青年商工会・県所との交流事業はその一つの手段であり、この地域で行動をおこすための大きな商いい学びの場になり、そして気づきを得る機会にもなります。

私がJCの中で一番影響を受けたと言っても過言ではない、世界80カ国から参加者が集い、寝食を共にしながらリーダーシップトレーニングを行う「国際アカデミー」もグローバルな出会いの場であり、国や人種・言語の壁を越え、より大きな視点から地域開発について議論し合い、日本人として、倉敷人として、そして倉敷JCに所属する一人の会員として、今自分に何が出来るのかという気づきを与えてくれるものでした。人は自分が経験していないことや自分たがいないものに対しては消極的であったり、時には否定的であったりし、ましてや人に勧めることはいないでしょう。信念を持ってJC運動を行っている会員にとって、JCを全く経験していない人から何も知らずして批判を受けたい時にどう感じるだろうか、小さな世界に止まることなく、自らが知らない間に作っていた壁を壊し、まずは自分の目で判断し、そしてそれを経験していない人に継続して伝えていくことが重要です。

JCには様々な機会があり、大別すると「個人」「地域」「世界」「ビジネス」です。様々な研修プログラムや活動から個人の能力開発を行う機会、社会への奉仕としてまちづくりを実施することで地域と関わりを持つ機会、JCの事業や国際交流による世界と関わる機会、そして全国の、世界の青年経済人に出会うことで新しいビジネスへの機会、これらの機会は今までの会員に平等にあります。が、自らが手を伸ばさなければ手に入れることは出来ません。出席や参加することで義務と考えるのがそれとも機会(チャンス)と捉えるのか、青年期の限られた時間の中で機会消失(チャンスロス)することなく、グローバルな出会いと学びを求めている、学びから気づきと成長へ、そして成長を繰り返すことで、人間力溢れる社会人としてのPOSITIVE CHANGE(より良い変化)へと発展させていきましょう。

結びに

倉敷JCはその設立以来55年間に及び、先達のたゆまない努力の結果、組織として多大なる功績をこの倉敷の地に残し、そして卒業された数多くのJA YCEEが、JCで身に付けた意思や価値観を持つて、今なお地域の様々な分野において、その力をいかに大きく発揮し続けています。そして当り、一歩社会に出ると、理事長であろうが役員であろうがまだまだ未熟な一人の社会人です。40歳を迎えJCを卒業し、社会人として、地域に必要な真のリーダーとして、本当の意味でのスタートを切るために我々は今をどう生きるのか、青年期に多大なる時間とエネルギーを注ぐ我々の運動は、ただ消た型運動をこなしたり、ただ達成感を得るためのものではなかつたのではなく、誰のためのためのための運動なのか、本質を捉えなければならない。

この壁を壊して視野を広げ、感謝とOMOIYARIある利他的精神で、限りなくこの青年期こそこの倉敷(まち)のために尽くす。それは誰かに見返りを求めたりするものではなく、親が子に尽くすことに対して何も求めないように。

JCを律し、揺るぎない信念を持って今を生きた後、古い知人に久しぶりに会ってみてください。自らに押し、愛する力があるです。

コンテンツ一覧

HOME	倉敷JCとは	スケジュール	青年会議所とは
事業・活動報告	入会案内	メンバーズサイト	リンク
情報公開	50年の歴史	第56代理事長 所信	過去のページ
賛助企業一覧	賛助企業募集	プライバシーポリシー	お問い合わせ

社団法人 倉敷青年会議所

〒710-0824 倉敷市白葉町249-5 4階

TEL：086-421-9565 FAX：086-421-3454

e-mail：post@kurashiki-jc.or.jp

🔍 サイト内を検索

検索



組織図

2011年度組織図

画像クリックでPDFが開きます。

賛助企業一覧
がんばろうNIPPON
がんばろうNIPPON

アクセスカウンタ

今日：**3**
昨日：**0**
今週：**3**
今月：**5**
総計：**32356**
平均：**20**

LOM出向者一覧

	会員拡大会議	ブロック会員大会 準備特別会議
委員会名	氏名	氏名
OMOIYARIある青少年育成委員会	吉田 哲也	岡田 直樹
会員研修委員会	山形 貴臣	高尾 聡一郎
環境運動発信委員会	合田 英弘	檜田 和重
誇りある郷土創造委員会	安原 正剛	板谷 尚昌
真のリーダー育成委員会	石賀 康弘	山田 克浩
例会委員会	梶房 修	保田 昌亮
広報渉外委員会	山本 陽一	李 成宰
総務委員会	中山 一将	三宅 匡

📄 ページのトップへ

コンテンツ一覧

HOME

事業・活動報告

情報公開

賛助企業一覧

倉敷JCとは

入会案内

50年の歴史

賛助企業募集

スケジュール

メンバーズサイト

第56代理事長 所信

プライバシーポリシー

青年会議所とは

リンク

過去のページ

お問い合わせ

社団法人 倉敷青年会議所

〒710-0824 倉敷市白楽町249-5 4階
TEL：086-421-9566 / FAX：086-421-3454
e-mail：post@kurashiki-jc.or.jp

(C)Copyright 2010 Kurashiki Junior Chamber,Inc. All Rights Reserved.

検索



HOME	倉敷JCとは	スケジュール	青年会議所とは	事業・活動報告	入会案内	メンバーズサイト	リンク
------	--------	--------	---------	---------	------	----------	-----

役員・常任理事・委員長・議長・出向者名簿

役員・常任理事

理事長	岡本 大輔
直前理事長	小松原 博幸
監事	石本 真也 三宅 昇
副理事長	山本 昭 水野 修一 木田 泰正
専務理事	野上仙一郎
常任理事室長	高谷 啓治 山田 啓吾 中川 泰雄 三宅 大樹

委員長・議長

会員拡大会議	小野 泰正
OMOIYARIある青少年育成委員会	佐藤 健太
会員研修委員会	出原 伸一
環境運動発信委員会	杉田 篤
誇りある郷土創造委員会	目黒隆三郎
真のリーダー育成委員会	矢野 智基
例会委員会	時尾 博幸
広報渉外委員会	小松原宏平
総務委員会	香川 渉
資格審査委員会	石本 真也
ブロック会員大会準備特別会議	高谷 啓治

出向者名簿

出 向 先	会議・委員会名	役職名	氏 名
公益社団法人 日本青年会議所	サマーコンファレンス 運営委員会	委員	栗山 豪利
		委員	山本 陽一
	JCI関係委員会	委員	三宅 博雄
	OMOIYARIネットワーク 確立委員会	委員	財前 亘
	アジアアライアンス 確立委員会	会計幹事	三宅 大樹
		委員	李 雄輝
	吉村専務理事補佐		嶋崎 美和 山川 しのぶ
公益社団法人 日本青年会議所 中国地区協議会	財政特別委員会	委員	中山 善継
公益社団法人 日本青年会議所 中国地区	副会長		中川 泰雄
	財政局長		中山 善継
	副会長幹事		木田 周作
			森川 正章
	会員研修委員会	委員	出原 伸一
		委員	橋本 岳
	元気ある岡山創造委員会	委員	小野 泰正
		委員	中桐 大介
		委員	三宅 匡
	誇りある岡山創造委員会	委員	佐藤 健太
		委員	矢野 智基
	事務局グループ	委員	安藤 正人
		委員	谷口 智一
岡山NPOセンター	理事		目黒 隆三郎

🏠 ページのトップへ

コンテンツ一覧

HOME	倉敷JCとは	スケジュール	青年会議所とは
事業・活動報告	入会案内	メンバーズサイト	リンク
情報公開	50年の歴史	第56代理事長 所信	過去のページ
賛助企業一覧	賛助企業募集	プライバシーポリシー	お問い合わせ

基本資料ダウンロード

Think globally, Act locally
 ～自らの壁を壊し、この倉敷(まち)に尽くそう～

2011年度社団法人倉敷青年会議所の基本資料は左のスローガンをクリックしていただくか、下記よりダウンロードしてください。

[2011年基本資料をダウンロードする](#)

資料はlzh圧縮となっております。解凍ソフトをお持ちでない方は[ココ](#)をクリックしてダウンロード・インストールしてください。

過去年度の基本資料をダウンロードをご希望の方は、下記ご希望年度のスローガンをクリックしてください。

[賛助企業一覧](#)

[がんばろうNIPPON](#)

[がんばろうNIPPON](#)

アクセスカウンタ

今日：**3**

昨日：**0**

今週：**3**

今月：**5**

総計：**32356**

平均：**20**

限界に挑戦～なにごともしきらめない!最後まで背中をみせる人となれ～



一心如鏡～いっしんかがみのごとし～



[🏠 ページのトップへ](#)

コンテンツ一覧

[HOME](#)

[事業・活動報告](#)

[情報公開](#)

[賛助企業一覧](#)

[倉敷JCとは](#)

[入会案内](#)

[50年の歴史](#)

[賛助企業募集](#)

[スケジュール](#)

[メンバーズサイト](#)

[第56代理事長 所信](#)

[プライバシーポリシー](#)

[青年会議所とは](#)

[リンク](#)

[過去のページ](#)

[お問い合わせ](#)

社団法人 倉敷青年会議所

〒710-0824 倉敷市白楽町249-5 4階

TEL：086-421-9566 / FAX：086-421-3454

e-mail：post@kurashiki-jc.or.jp

HOME		倉敷JCとは	スケジュール	青年会議所とは	事業・活動報告	入会案内	メンバーズサイト	リンク
------	--	--------	--------	---------	---------	------	----------	-----

サイト内を検索

検索

定款

- 社団法人倉敷青年会議所 定款

第1章 総 則

(名称)
第1条 本会議所は、社団法人倉敷青年会議所と称する。
(事務所)
第2条 本会議所は、事務所を岡山県倉敷市に置く。

(目的)
第3条 本会議所は、地域社会及び国家の政治・経済・社会・文化等の発展をはかり、会員の連携と指導力の啓発に努めるとともに、国際的理解を深め、世界の繁栄と平和に寄与することを目的とする。
(運営の原則)
第4条 本会議所は、これを特定の個人、又は法人、その他の団体のために利用してはならない。
2.本会議所は、これを特定の政党のために利用してはならない。
(事業)
第5条 本会議所は、第3条の目的を達成するため、次の事業を行う。
(1)人間と社会の開発に関する研究及びその実践のための事業
(2)政治、経済、産業及び文化の向上に関する研究並びにその実現を推進する事業
(3)国際青年会議所、社団法人日本青年会議所、国内、国外の青年会議所及びその他の諸団体と連携し、相互の理解と親善を推進する事業
(4)指導者訓練を基調とした会員の個人的修練及び相互の連携に資する行事の開催
(5)その他第3条の目的を達成するために必要な事業

第3章 会 員

(会員の種類)
第6条 本会議所の会員は、次の2種類とする。
(1)正会員
(2)特別会員
(正会員)
第7条 倉敷市及びその周辺に住所又は勤務先を有する20才以上40才未満の品性ある青年で、理事会において入会を承認されたものを正会員とする。ただし、年度中に上記制限年限に達するときは、その年度内は正会員としての資格を有する。
(特別会員)
第8条 特別会員は、前条の制限年限に達した正会員のみがその資格を有する。
2.特別会員に関する細目は、別に定める規則による。
(入会)
第9条 本会議所に入会を希望する者は、正会員2名以上の責任ある推薦により、別に定める規則に基づき、所定の入会手続により申込みなければならない。
(会員の権利及び義務)
第10条 本会議所の会員は、本定款に別に定めるもののほか、定款その他の規則を遵守し、本会議所の目的達成に必要なすべての事業に参加する権利を有し、義務を負う。
(会費等の納入義務)
第11条 本会議所の会員は、入会に際し入会金を、又毎年所定の納期に会費を、次のとおり納入しなければならない。
(1)入会金 正会員 金 50,000円
(2)会 費 正会員 年額金 130,000円
(退会) 第12条 退会を希望する会員は、退会届を提出しなければならない。
2.年度の中で退会しても、既納の入会金及び会費は返還しない。
3.会費納入前に退会を届出ても、その期分の会費は納入しなければならない。
第13条 本会議所の会員は、次のいずれかに該当するときは、退会したものとみなす。
(1)死亡し、又は失踪宣告を受けたとき。
(2)後見開始、保佐開始又は補助開始の審判を受けたとき。
(除名)
第14条 本会議所の会員が次の各号のいずれかに該当するときは、理事会の決議により、これを除名することができる。
(1)本会議所の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為のあったとき。
(2)会費納入義務を履行しないとき。
(3)出席義務を履行しないとき。
(4)その他会員として適当でないと認められたとき。
2.前項第2号に規定する事由以外の事由により除名する場合には、当該会員に理事会において弁明の機会を与えなければならない。

第4章 役 員

(役員の種類及び員数)
第15条 本会議所に次の役員を置く。
(1)理事長 1名
(2)副理事長 2名以上5名以内
(3)専務理事 1名
(4)理事 10名以上30名以内(理事長及び副理事長、専務理事を含む。)
(5)監事 2名以上4名以内
(6)直前理事長及び元理事長
(7)資格審査委員長 1名
2.本会議所は、役員として顧問を若干名置くことができる。
3.理事の中より若干名の常任理事を置くことができる。
(役員の資格及び任免)
第16条 役員は、本会議所の正会員であることを要する。ただし、直前理事長は、この限りでない。
2.直前理事長及び元理事長を除く役員は、総会において選任及び解任される。
3.理事及び監事は、相互に兼ねることができない。
4.役員の選任の方法は、別に定める規則による。
(役員の職務)
第17条 理事長は、本会議所を代表し、所務を総理する。
2.副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故があるときは、その職務を代行し、理事長が欠けたときは、その職務を行う。
3.常任理事及び理事は、理事長及び副理事長を補佐して所務を処理する。
4.監事は、民法(明治29年法律第89号)第59条に規定する職務を行う。
5.直前理事長及び元理事長は、理事長から意見を求められたとき、理事長経歴を生かし、所務について必要な助言をする。
6.資格審査委員長は、会員の資格を審査する。
7.専務理事は、理事長及び副理事長を補佐して所務をつかさどり、かつ事務局を統括する。
8.資格審査委員長は、理事長から求められたときは、理事会に出席し、必要な助言をしなければならない。
(役員の任期)
第18条 役員の任期は毎年1月1日から12月31日までの1年とする。ただし、再任を妨げない。
2.補欠役員の任期は、前任者の残任期間とする。
3.任期満了又は辞任により退任した役員は、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。
(解任)
第19条 役員で役員としてふさわしくない行為をしたものは、総会の決議により解任することができる。

第5章 会 議

(種別)
第20条 会議は、総会及び理事会とし、総会を定時総会及び臨時総会に、理事会を定例理事会及び臨時理事会に分ける。
2.総会は正会員をもって構成し、理事会は理事をもって構成する。
3.監事及び顧問は、理事会に出席し、意見を述べることができる。
(総会の決議事項)
第21条 総会は、この定款に規定するもののほか、次の事項を議決する。
(1)事業計画及び収支予算の決定及び変更
(2)事業報告及び収支決算の承認
(3)規則の制定、変更及び廃止
(4)その他特に重要な事項
(理事会の決議事項)
第22条 理事会は、この定款に規定するもののほか、次の事項を議決する。
(1)総会の議決した事項の執行に関すること。
(2)総会に付置すべき事項
(3)その他総会の議決を要しない所務の執行に関する事項
(招集)
第23条 会議は、理事長が招集する。
2.総会を招集するには、正会員に対し、会議の目的たる事項及びその内容並びに日時、場所を記載した書面をもって、会日の7日前までに通知しなければならない。
(開催)
第24条 定時総会は、毎年4回開催する。
2.臨時総会は、理事長が必要と認め、又は5分の1以上の正会員もしくは監事から、会議の目的たる事項を示して請求があったとき開催する。
3.定例理事会は、年度中に12回開催する。
4.臨時理事会は、理事長が必要と認めたとき、又は理事3名以上の要求があったとき開催する。
(議長)
第25条 総会の議長は、その総会において、出席会員のなかから選任する。
2.理事会の議長は、理事長がこれに当たる。
(開会の定足数)
第26条 会議は、これを構成する正会員又は理事の2分の1以上の出席がなければ開くことができない。
(議決)
第27条 会議の議事は、出席会員又は理事の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
(表決の委任)
第28条 やむを得ない理由のため、会議に出席できない正会員又は理事は、あらかじめ通知された事項について、他の構成員を代理人として、表決を委任することができる。この場合においては、前2条の規定の適用については、出席したものとみなす。
(議事録)
第29条 会議の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。
(1)開会の日時及び場所
(2)正会員又は理事の現在数
(3)会議に出席した正会員又は理事の氏名
(4)議決事項
(5)議事の経過、要領及び発言者の発言要旨
(6)その他
2.議事録には、議長及び出席正会員又は理事の中から、その会議において選出された議事録署名人2名以上が署名しなければならない。

第6章 例会、委員会等

(例会)
第30条 本会議所は、別に定める規則により、毎月1回例会を開催する。
(委員会等の設置)
第31条 本会議所は、第3条の目的達成に必要な事項を研究し、又は実施するために委員会等を設置する。
2.委員会等について必要な事項は、別に定める規則による。
(委員等の任命)
第32条 委員会等に、それぞれ長1名、委員若干名を置く。
2.委員長等は、理事のうちから理事長が理事会の承認を得て任命し、委員は、正会員のうちから理事会の承認を得て、配属される。

第7章 資産及び会計

(資産)
第33条 本会議所の資産は、次のとおりとする。
(1)財産目録記載の財産
(2)入会金及び会費
(3)事業に伴う収入
(4)資産から生ずる収入
(5)寄付金品
(6)その他の収入
(資産の管理)
第34条 本会議所の資産は、理事会で定めた方法により理事長が管理する。
(経費の支弁)
第35条 本会議所の経費は、資産をもって支弁する。
(資産の団体制)
第36条 本会議所の会員は、その資格を喪失するに際し、本会議所の資産に対し、いかなる請求をもつことができない。
(会計年度)
第37条 本会議所の会計年度は、毎年1月1日に始まり、12月31日に終る。

第8章 管 理

(定款その他の書類の備付)
第38条 理事長は、定款、規則、会員名簿並びに総会及び理事会の議事録を事務所に備えておかなければならない。
(決算関係書類の提出)
第39条 理事長は、毎事業年度終了後60日以内に開かれる定時総会の会日の7日前までに、当該年度にかかる次の書類を作成し、監事に提出しなければならない。
(1)事業報告書
(2)貸借対照表
(3)収支決算書
(4)財産目録
2.監事は、前項の規定により書類の提出を受けたときは、監査を行ったうえ、前項の定時総会の前日までに意見書を理事長に提出しなければならない。
3.理事長は、前項の監事の意見書を添えて第1項の書類を同項の定時総会に提出し、その承認を求めなければならない。
4.理事長は、毎事業年度、第1項の定時総会の7日前までに、同項の書類の写しを事務所に備えておかなければならない。
(書類の閲覧)
第40条 会員は、第38条及び前条第1項の書類並びに前条第2項の意見書をいつでも閲覧することができる。
2.理事長は、正当な理由なくして前項の閲覧を拒むことができない。
(事務局)
第41条 本会議所の事務を処理するため、事務所の所在地に事務局を置く。
2.事務局には、事務局員若干名を置く。
3.事務局員は、理事会の承認を得て理事長が任免する。

第9章 定款の変更及び解散

(定款の変更)
第42条 この定款は、総会において、正会員の3分の2以上の同意を得、かつ、岡山県知事の認可を得なければ変更することができない。
(解散及び残余財産の処分)
第43条 本会議所は、正会員の4分の3以上の同意を得、かつ、岡山県知事の許可を得て、解散することができる。
2.解散のときに存する残余財産は、総会の議決を経、かつ、岡山県知事の許可を得て、本会議所と類似の目的をもつ他の公益法人に寄付するものとする。

第10章 雑 則

(その他)
第44条 この定款及び規則の施行に関し必要な事項は、理事会の決議を経て別に定める。
附 則
第45条 この定款は、岡山県知事の設立許可のあった日から施行する。
第46条 本会議所の設立当初の役員は、第16条第1項の規定にかかわらず別紙のとおりとし、その任期は、第18条の規定にかかわらず昭和55年12月31日までとする。
第47条 本会議所の初年度の事業計画及び収支予算は、第21条第1項の規定にかかわらず、設立総会の定めるところによる。
第48条 本会議所の初年度の会計年度は、第37条の規定にかかわらず、岡山県知事の設立許可のあった日から昭和55年12月31日までとする。

コンテンツ一覧

HOME	倉敷JCとは	スケジュール	青年会議所とは
事業・活動報告	入会案内	メンバーズサイト	リンク
情報公開	50年の歴史	第56代理事長 所信	過去のページ
賛助企業一覧	賛助企業募集	プライバシーポリシー	お問い合わせ

検索



HOME	倉敷JCとは	スケジュール	青年会議所とは	事業・活動報告	入会案内	メンバーズサイト	リンク
------	--------	--------	---------	---------	------	----------	-----

要覧

創立	1956年3月5日
社団法人格所得	1980年1月8日
認証番号	80
事務所	〒710-0824 岡山県倉敷市白楽町249番地5 倉敷商工会館4階 TEL 086-421-9566(直通) TEL 086-424-2111(代)内線885 FAX 086-421-3454 http://www.kurashiki-jc.or.jp E-mail post@kurashiki-jc.or.jp
委員会数	4室1会議8委員会
事務局員数	1名
会員数	110名(平均年齢35.4歳)
特別会員数	408名
入会金	50,000円
年会費	130,000円
JCI出向	0名
日本JC出向	8名
地区出向	1名
ブロック出向	13名
例会日時	毎月11日 (但し、土曜・日曜・祝祭日に当たる場合は翌日以降の平日に開催)
例会場	倉敷国際ホテル (倉敷市中央1-1-44 TEL 086-422-5141<代>)
スポンサーJC	社団法人 岡山青年会議所
スポンサーをしているJC	社団法人 井原青年会議所 社団法人 総社青年会議所
友好JC	社団法人 山形青年会議所 (1965年6月12日締結) ホノルル日系人青年商工会議所 (アメリカ,1985年5月1日締結)

賛助企業一覧

がんばろうNIPPON

がんばろうNIPPON

アクセスカウンタ

今日：**3**

昨日：**0**

今週：**3**

今月：**5**

総計：**32356**

平均：**20**

🏠 ページのトップへ

コンテンツ一覧

HOME

事業・活動報告

情報公開

賛助企業一覧

倉敷JCとは

入会案内

50年の歴史

賛助企業募集

スケジュール

メンバーズサイト

第56代理事長 所信

プライバシーポリシー

青年会議所とは

リンク

過去のページ

お問い合わせ

社団法人 倉敷青年会議所

〒710-0824 倉敷市白楽町249-5 4階
TEL：086-421-9566 / FAX：086-421-3454
e-mail：post@kurashiki-jc.or.jp

(C)Copyright 2010 Kurashiki Junior Chamber,Inc. All Rights Reserved.

🔍 サイト内を検索

検索



HOME

倉敷JCとは

スケジュール

青年会議所とは

事業・活動報告

入会案内

メンバーズサイト

リンク

部と同好会

野球部



サッカー同好会



じゃがいもクラブ



賛助企業一覧

がんばろうNIPPON

がんばろうNIPPON

アクセスカウンタ

今日： 3

昨日： 0

今週： 3

今月： 5

総計： 32356

平均： 20

🏠 ページのトップへ

コンテンツ一覧

HOME

事業・活動報告

情報公開

賛助企業一覧

倉敷JCとは

入会案内

50年の歴史

賛助企業募集

スケジュール

メンバーズサイト

第56代理事長 所信

プライバシーポリシー

青年会議所とは

リンク

過去のページ

お問い合わせ

社団法人 倉敷青年会議所

〒710-0824 倉敷市白楽町249-5 4階

TEL：086-421-9566 / FAX：086-421-3454

e-mail：post@kurashiki-jc.or.jp

初代～第25代理事長

賛助企業一覧

がんばろうNIPPON

がんばろうNIPPON

アクセスカウンタ

今日：3

昨日：0

今週：3

今月：5

総計：32356

平均：20



初代
鴨井正夫
1956年
(昭和31年)

スローガン：青年の力で新しい社会を
会員数：21名
主な事業：1956年3月：倉敷青年会議所設立総会承認伝達式
全国80番目のJCとして発足（つるや）
初例会開催
4月：倉敷駅前時計塔竣工式
倉敷JC寄贈
岡山・児島・倉敷JC親睦野球大会



第2代
鴨井正夫
1957年
(昭和32年)

スローガン：世界を結ぶ青年の力
会員数：38名
主な事業：1957年2月：倉敷JC主催講演会
内山完造氏
5月：例会兼水島地区の工場見学会
8月：益の家族会 沙美海岸へ海水浴
11月：岡山・倉敷・児島・玉島JC親睦野球大会
県下4JC親睦ゴルフ大会



第3代
岡 宏一
1958年
(昭和33年)

スローガン：若い力で経済建設
会員数：39名
主な事業：1958年4月：倉敷新聞記者クラブ対抗野球大会
9月：JCデー 岡山マリア公園見物
第一回児童館開館（つるや）
12月：歳末すけあい運動に参加
例会兼年末家族会（古久賀会館）



第4代
秋山政彦
1959年
(昭和34年)

スローガン：JCの力で築こう明るい社会
会員数：36名
主な事業：1959年4月：東洋工業見学および広島JC交歓会
6月：中学勤労新聞配達学徒表彰激励会
正しく通行する運動標識を鑑察に
7月：岡山経営セミナー
ビジネスゲーム
10月：早川電気工業見学および大阪JC交歓会



第5代
秋山政彦
1960年
(昭和35年)

スローガン：JC 一人一人がJCの希望
会員数：39名
主な事業：1960年1月：倉敷青年会議所設立総会承認伝達式
6月：全国80番目のJCとして発足（つるや）
初例会開催
8月：倉敷駅前時計塔竣工式
9月：倉敷JC寄贈
11月：岡山・児島・倉敷JC親睦野球大会



第6代
佐々木幸一
1961年
(昭和36年)

スローガン：JCは明日の世界の道しるべ
会員数：36名
主な事業：1961年1月：スキー家族会
6月：広報委員会、資格審査委員会結成
9月：JCデー 養老院慰問（羽島光風荘）
管理者訓練講座（富士銀行）
11月：倉敷JC広報誌編集発表受賞



第7代
前田 彰
1962年
(昭和37年)

スローガン：経済の正しい成長になえ JC
会員数：40名
主な事業：1962年5月：中国地区にて“例会出席率第1位”受賞
6月：文芸春秋文化講演会（西小學校）
交通座談会（倉敷新聞に連載）
9月：全国大会で特別個人受賞（秋山君）
10月：団体旗リレー参加



第8代
鴨井利郎
1963年
(昭和38年)

スローガン：JCの若さで結ぶ世界は一つ
会員数：37名
主な事業：1963年2月：倉敷・児島・玉野合同例会（玉野）
6月：例会を兼ねサントリー仁丹工場見学
9月：市長を囲む座談会
10月：全国大会（金沢）で優良広報誌賞
井原JC誌承認伝達式、スポンサーJC



第9代
斎藤彰男
1964年
(昭和39年)

スローガン：新時代築く若さと指導力
会員数：40名
主な事業：1964年4月：武田薬品（大阪）、旭硝子工場見学
6月：大山名人を囲むマージャン大会（新漢園）
8月：第1回倉敷経済講座開催
9月：JCデー統一行事
市長を囲む座談会
第13回全国会員大会が岡山で開催



第10代
斎藤彰男
1965年
(昭和40年)

スローガン：福祉国家創るさきがけ果たせJC
会員数：41名
主な事業：1965年1月：第1回岡山ブロック協議会
2月：倉敷主催ブロック協議会（新漢園）
6月：倉敷・山形JC姉妹組組結
7月：第1回OB会
9月：市議会で“倉敷市民憲章”可決
10月：第14回全国大会で優秀ローカルJC受賞
倉敷JC創立10周年記念式典



第11代
武田鑑也
1966年
(昭和41年)

スローガン：Jayceeの若さで創ろう明るい未来
会員数：45名
主な事業：1966年2月：第1回会員ボーリング大会
3月：第1回倉敷市民憲章推進協議会
4月：第1回岡山ブロック会員大会（岡山）
8月：宝福寺にて座禅（8月例会）
10月：市民憲章制定都市全国大会（八光苑）
山形で大原コレクション展開催



第12代
佐藤幸平
1967年
(昭和42年)

スローガン：Jayceeの勇気で築こう正しい社会
会員数：50名
主な事業：1967年4月：明治村見学・岐阜JCとの交歓会
6月：ブロック協議会にて優秀委員会賞受賞
9月：倉敷看護学校へテレビ1台寄付
JCデー交通安全に関する懇談会
ブロック麻雀大会（倉敷JC主催）



第13代
藤本修平
1968年
(昭和43年)

スローガン：日本の正しい行く手しめせ Jaycee
会員数：48名
主な事業：1968年4月：倉敷・児島・玉島JC合同講演会
4月：ブロック協議会にて経済活動賞受賞
5月：本田技研、河合楽器へ山形JCと工場見学
9月：岡山・香川両県JC兄弟組組結式典



第14代
渡邊益徳
1969年
(昭和44年)

スローガン：Jayceeの総意で示せ日本の姿勢
会員数：50名
主な事業：1969年3月：福祉JC誌承認伝達式
4月：スポンサーJC
6月：JCI会館へピン君来会、懇談
7月：春日見業、松下電器工業見学
11月：黄色い旗贈呈式（水島警察署）
労働事情アンケート集計



第15代
吉川 正
1970年
(昭和45年)

スローガン：豊かな心、厳しい自覚、貴け社会の正義
会員数：50名
主な事業：1970年2月：福祉JCとの合同例会
5月：交通安全新聞会開催（文化センター）
6月：住友化学（新徳浜）へ工場見学
11月：倉敷JC創立15周年記念祝賀会
大原美術館創立40周年式典



第16代
三宅啓介
1971年
(昭和46年)

スローガン：豊かな心厳しい自覚築こう
アジアの連帯感
会員数：53名
主な事業：1971年2月：第1回公害問題懇談会
4月：成人式を迎えた青年の意識調査
7月：経営者開発セミナー
9月：倉敷JCフェスティバル開催
11月：社会開発・指導力開発セミナー



第17代
山沢定義
1972年
(昭和47年)

スローガン：考える、行動する、若い力が未来を開く
会員数：63名
主な事業：1972年5月：御坊JCとの経営者開発委員会
交流会
6月：沖縄復帰記念全国会員大会（那覇）
9月：第10回岡山ブロックじゃがいも大会
11月：第1回山形・倉敷JC懇親OB会



第18代
原 由憲
1973年
(昭和48年)

スローガン：若人と創ろう築こう豊かな未来
会員数：64名
主な事業：1973年2月：市民憲章推進協議会市民バレード
7月：泥かぶらチャリティーショー
広島東洋工業見学
9月：市民憲章推進市民の集い
環境美化運動の表彰
市民憲章写真コンテスト開催



第19代
岩井 満
1974年
(昭和49年)

スローガン：探求する英知、挑戦する勇気、
若さで抱え日本の未来
会員数：79名
主な事業：1974年2月：岡山ブロック会員大会10周年
7月：第23回中国地区会員大会
倉敷JC主催
8月：倉敷夏まつり 市民憲章バレード
9月：倉敷経済講座10周年記念講演会
12月：心身障害児と親を囲む会



第20代
浅野鶴之
1975年
(昭和50年)

スローガン：人間への期待、明日への行動、
作ろう正しい日本の心
会員数：96名
主な事業：1975年2月：ファミリースキー（大山）
4月：第15回ブロックじゃがいも大会主管
5月：倉敷夏まつり
8月：倉敷夏まつり
ハレード・代官祭り
10月：倉敷JC創立20周年記念式典



第11代
武田鑑也
1966年
(昭和41年)

スローガン：Jayceeの若さで創ろう明るい未来
会員数：45名
主な事業：1966年2月：第1回会員ボーリング大会
3月：第1回倉敷市民憲章推進協議会
4月：第1回岡山ブロック会員大会（岡山）
8月：宝福寺にて座禅（8月例会）
10月：市民憲章制定都市全国大会（八光苑）
山形で大原コレクション展開催



第22代
佐々木孝之
1977年
(昭和52年)

スローガン：築こう日本の証、はかろう自治意識の高揚
会員数：77名
主な事業：1977年6月：日本アカデミー洋上スクール
7月：市民キャンペーン清掃奉仕（観音山公園）
ファミリーキャンプ（弥高山）
8月：倉敷夏まつり
代官ばやし通りに参加
LD遊園無人馬車キャンペーン（手島）



第23代
佐藤 肇
1978年
(昭和53年)

スローガン：自己の可能性への挑戦
会員数：90名
主な事業：1978年3月：原子力発電所見学会（松江）
4月：JCデー統一事業
6月：ガリエンツェン（岡山三光荘）
8月：日本JC指導力小委員会（倉敷）
9月：倉敷夏まつり「ふれあい広場」開設
岡山・香川ブロック交流研究会（小豆島）



第24代
小野正晃
1979年
(昭和54年)

スローガン：勇気ある挑戦、厳しい自覚、
世界に翔け青年の力
会員数：91名
主な事業：1979年：社団法人格取得
2月：青少年不慮化防止懇談会
7月：心身障害者支援慈善チャリティーショー
9月：北方領土返還要求のつどい
（岡山武道館）
岡山・香川船上討論会



第25代
高島克忠
1980年
(昭和55年)

スローガン：倉敷一その明日の文化の創造
会員数：95名
主な事業：1980年1月：社団法人設立パーティー
4月：25周年「こうせん・こうさ、こんさーと」
8月：3JC合同「競走馬船政子供大会」
11月：倉敷JC創立25周年記念式典
「未だ見ざる時代」発行
12月：倉敷JC・クライストチャーチJC
姉妹組組結

コンテンツ一覧

HOME	倉敷JCとは	スケジュール	青年会議所とは
事業・活動報告	入会案内	メンバーズサイト	リンク
情報公開	50年の歴史	第56代理事長 所信	過去のページ
賛助企業一覧	賛助企業募集	プライバシーポリシー	お問い合わせ

第26代～第50代理事長



第26代
森田昭一郎
(1981年
昭和56年)

スローガン：見つめよう国際社会考えよう
日本の役割示そう青年の気風
会員数：117名
主な事業：
1981年7月：「社会人再教育」シンポジウム
CRA協議会設立準備会
瀬戸田ファミリーキャンプ
8月：喜まつり 創作提灯の展示
10月：瀬戸大橋船上大シンポジウム



第27代
山脇正臣
(1982年
昭和57年)

スローガン：団結強固・規律厳正・精進
会員数：109名
主な事業：
1982年3月：山形JCホームステイ
社団法人設立パーティー
4月：ブロック会員大会倉敷JC主催
5月：クラリストチャーチJC 200名来会
6月：ブロック経営セミナー
ビッフェレキハイン会長
8月：山形・倉敷JC子供交換会



第28代
大久保憲作
(1983年
昭和58年)

スローガン：憧一 道標たる光よ
会員数：109名
主な事業：
1983年3月：コミュニティ研究会
TQC特別講座
酒津わいわいサンデー（旧酒津写真大会）
4月：中国地区社会開発委員会（倉敷）
7月：第1回倉敷天保喜まつり（美観地区で開催）
倉敷小町コンテスト実施
10月：倉敷経済講座 20周年記念式典
12月：第1回タウンミーティング開催



第29代
山田秀樹
(1984年
昭和59年)

スローガン：無限の創造
会員数：101名
主な事業：
1984年2月：NHK「ふるさと競演」放送
4月：ブロック会員懇親野球大会
（倉敷主催）
5月：南浦プロジェクト見学
8月：ニューLAIT会議
10月：倉敷JCミーティングKJ法研修



第30代
秋山進彦
(1985年
昭和60年)

スローガン：21世紀への飛躍
会員数：109名
主な事業：
1985年2月：歴代理事長懇談会
5月：ポルノ日本人JC姉妹組織開印式
6月：比叡山延喜寺 体験入山
9月：倉敷JC創立30周年記念式典
記念誌「倉敷雑学講座」発行



第31代
鳥井松治郎
(1986年
昭和61年)

スローガン：原点の追求考える一年
会員数：112名
主な事業：
1986年1月：MIA勉強会
2月：ニューLIA勉強会
3月：倉敷JCハワイホノルルJC訪問
9月：全国一斉100%例会（夫人同伴）
10月：86瀬戸大橋フォーラム
編成 柳保太郎
12月：クリスマス家族会



第32代
木村充男
(1987年
昭和62年)

スローガン：満ちたる未来築こう倉敷の歴史（ロマン）
会員数：104名
主な事業：
1987年1月：マスコ懇談会
シニアクラブ設立
3月：倉敷消防出初式に出席
5月：ブロック野球大会（津山）
初優勝
10月：第2回まちづくり5社懇談会
MG（マネジメントゲーム）開催



第33代
岡本英人
(1988年
昭和63年)

スローガン：維新…伝心
会員数：107名
主な事業：
1988年1月：委員会対抗新春大運動会
4月：瀬戸大橋フッジオーク
6月：自衛隊体験入隊（日本隊）
7月：行政改革懇談会
8月：西条JCとの経産開発合同委員会
8月：倉敷長期ビジョン策定会議
11月：“瀬戸大橋開通後の倉敷”小冊子発行



第34代
藤原一致
(1989年
昭和64年)

スローガン：英知を結集し、情熱と行動で
新時代にチャレンジ！！
会員数：103名
主な事業：
1989年7月：日本JC人間開発室指導力開発委員会
倉敷会議
8月：歴代理事長夕食会
9月：中国地区経産委員会（つねや）
10月：自衛隊体験入隊（日本隊）
指導力開発委員会LD道場（慈愛学園）



第35代
高橋啓一
(1990年
平成2年)

スローガン：知識を見届け、見届けから価値へ
会員数：127名
主な事業：
1990年4月：老人福祉講演会
「高齢化社会を迎えて」
35周年記念事業
倉庫公設板の記念碑改築除幕式
5月：スポーツマンボウ
倉敷JC創立35周年記念式典
6月：松下政経塾経営サマセセミナー



第36代
嶋井恒夫
(1991年
平成3年)

スローガン：味わおう もっとJCを！
会員数：125名
主な事業：
①「TLCM1物語」運動
②「チボリ公園」勉強会
1991年2月：委員会対抗スポーツ水泳大会
7月：ブロック研修大学
（コンベックス岡山）
11月：倉敷市民憲章20周年記念推進大会



第37代
近藤幸二
(1992年
平成4年)

スローガン：元気ですJC曲ろう倉敷物語
会員数：140名
主な事業：
①中国地フォーラム'92 倉敷主催
1992年2月：ブロック経営者開発会議、
倉敷会議
3月：土庫経産勉強会
6月：ブロック野球大会 優勝
7月：地区フォーラム主催



第38代
仁科正己
(1993年
平成5年)

スローガン：たのしさいっぱい 笑顔のふれあい
会員数：146名
主な事業：
①もったいない運動
②全国大会岡山山 倉敷副主催
1993年4月：クロバハ、トレーニング・
スクール（ファリピン）に多くのメンバー
6月：ブロック野球大会 準優勝
10月：JCIボンコン世界会議にブース出展



第39代
池田一郎
(1994年
平成6年)

スローガン：今 動き始める 倉敷の心
会員数：157名
主な事業：
①キネスに挑戦（空かんピラミッド）
②神戸世界会議
③大原謙三郎の研究
1994年8月：ブロック30周年政治フォーラム
10月：国際貢献サミット倉敷サテライトにて
ワールドゲーム開催



第40代
岡本研作
(1995年
平成7年)

スローガン：今より素直な何かを求めて！
会員数：157名
主な事業：
阪神大震災救援炊出し
数代5理事長座談会
1994年8月：ハワイJC姉妹結組10周年
10月：記念しセフション
40周年プレス発表
創立40周年記念式典
40周年チャリティーゴルフ寄付金贈呈式



第41代
藤澤太郎
(1996年
平成8年)

スローガン：For Tomorrow
会員数：156名
主な事業：
1996年3月：ユネスコ倉敷会議
5月：ハートランド倉敷オープンニング
6月：池澤モータース
5月：国際アカデミーin倉敷
7月：JCI会議 来会
11月：NGOサミット倉敷分科会



第42代
梶尾義人
(1997年
平成9年)

スローガン：夢を描こう
～すばらしい未来（あす）のために～
会員数：158名
主な事業：
1997年2月：日本海豊油流出事故視察
7月：日本JC地区担当会議（倉敷）
7月：倉敷チボリ公園開園記念
パーティー
8月：かんきょうサマーキャンプ
9月：第33回岡山ブロック会員大会（倉敷）



第43代
神原彰仁
(1998年
平成10年)

スローガン：生かせるパートナー
Ascending Power 新しい息吹を
会員数：143名
主な事業：
1998年2月：別会にて環境タイム実施
（環境プロジェクト委員会）
日本JC会頭・岡山ブロック
3月：会長公式訪問例会
第47回岡山ブロック会員懇親
5月：野球大会 優勝（倉敷JC主催）
まちづくりセミナーin若文館
7月：（コミュニティ創造委員会）
岡山ブロックじゃがいも大会
10月：団体優勝（倉敷JC主催）



第44代
高竹和明
(1999年
平成11年)

スローガン：1人ひとりのチャレンジ！
会員数：156名
主な事業：
1999年3月：会員拡大一開催
4月：第48回岡山ブロック会員懇親
野球大会 優勝（V2）
7月：小学生クラス対抗30人31脚
倉敷大会
9月：理事選挙（立会演説）
（4月役員選任方法に関する規則変更）
10月：JC-IDカード取得率全国1位
（第48回岡山全国会員大会）
第15回JCサッカー選手権大会



第45代
河村一浩
(2000年
平成12年)

スローガン：21世紀（あす）への挑戦
会員数：146名
主な事業：
2000年3月：創立45周年特別会員と現役会員の集い
9月：夢現りまちアートフェスティバル
（第3回文化の都市）
10月：全国会員野球大会（全国大会副主催）
11月：2000年決議文承認
12月：倉敷21世紀へのカウントダウン



第46代
藤井憲太郎
(2001年
平成13年)

スローガン：Creative Destruction
～おこせ新しい進時代の扉を開いて～
会員数：124名
主な事業：
①青年会議所の21世紀の役割NPOの
インキュベーターとしての取り組み開始
②新会員投資による家族懇親事業（前・後期）
③山形JCとの交流再開へ向け全道合同ナイト
2001年3月：大原謙一郎氏講演会・NPO交歓会
4月：岡山NPOサポートネットワーク入会
6月：倉敷川流域浄化へ向けホテル龍興会
7月：SCJチャリティーパーティー主催
8月：NGOトピアの会 子供サミット支援
岡山NPOサポートネットワーク理事就任
9月：どろんに祭り
10月：NPOまるごとフィル駅コンサート
県民啓発NPOセミナー・NPO交歓会



第47代
豊田圭宣
(2002年
平成14年)

スローガン：「倉敷！SHIN！！」
責任あるJAYCEEとして」
会員数：113名
主な事業：
①基本理念：合成の誤謬の解消
②日本JCとの協働事業エントリ
2002年2月：ポルノ日本人JC訪問
（50th喜まつりアニバーサリーボウル）
3月：岡山ブロック新会員研修会 V3達成
6月：JCリーASPACI山出大会 校長ブース出展
6月：ほーほーほーたる来い
クラスー丸倉敷ジュニアオリンピック
8月：山形・倉敷子ども交歓会
9月：100%出席率達成
10月：倉敷版でコンサート
11月：第67回倉敷経済文化講座
JC1世界会議ラスベガス大会 牛丼ブース出展



第48代
吉田茂徳
(2003年
平成15年)

スローガン：夢 ～今の時代を嘆くより
夢を与えるひととなれ～
会員数：110名
主な事業：
2003年3月：山形・倉敷子供交換会
3JC合同例会開催岡山JC会頭来会
7月：大人が見送す子供からのメッセージ
8月：「ファルガザ賞」～まちづくりフォーラム
玉蔵学園の子と私たちを
「チルドレンズ アート ミュージアム」
他入引車及び招待
4月：夢現りまちアートネットワーク入会
10月：倉敷版でコンサート
倉敷経済文化講座
（三郎樹成による経産品買セミナー）
11月：「芸術の秋 この一歩が道となる」
社団法人倉敷青年会議所PT研修TV討論会
日本ゴルフツアー機構岡山理事長講演会



第49代
木村 功
(2004年
平成16年)

スローガン：心放
～改革の気風 今、未来への決断の時！～
会員数：108名
主な事業：
2004年4月：倉敷市長選挙公開討論会
5月：青年心と食と体のスポーツ教室
6月：ファミリーわんぱくアクトア体験
7月：山形・倉敷子ども交歓会2004
7月：歴代理事長会議
9月：ぼーぼーえスドA.Y.（つながり愛）
第69回倉敷経済文化講座（家族愛）
10月：日本JC会頭に高竹和明君決定



第50代
中谷庄吾
(2005年
平成17年)

スローガン：新進気鋭～倉敷一番の学び舎となり、
たまじいひとづくりを目指そう～
会員数：98名
主な事業：
②2005年度 日本JC
会頭へ、高竹和明君を輩出
②2005年度 日本JC
地区担当理事へ、中谷庄吾君を輩出
2005年2月：山形・倉敷子ども交歓会in 龍王
3月：創立50周年記念式典
6月：YEAH！めっちゃ3Bホリデー
～Let's enjoy dance!～
7月：みんなで作ろう！親子ホームページ教室
8月：人材開発セミナーIN KUFASHIKI
9月：第76回岡山ブロックじゃがいも大会主催
10月：水谷 前氏 講演会
新緑の恵みややま国体、輝いて！
おかやま大会開催記念岡山山物
もらっちゃおうクイズ！
ハワイ・ポルノ日本人JC 倉敷
3JC姉妹結組20周年記念パーティー
創立50周年記念事業
第70回倉敷経済文化講座
創立50周年記念シンポジウム

コンテンツ一覧

HOME	倉敷JCとは	スケジュール	青年会議所とは
事業・活動報告	入会案内	メンバーズサイト	リンク
情報公開	50年の歴史	第56代理事長 所信	過去のページ
賛助企業一覧	賛助企業募集	プライバシーポリシー	お問い合わせ

HOME	倉敷JCとは	スケジュール	青年会議所とは	事業・活動報告	入会案内	メンバーズサイト	リンク
------	--------	--------	---------	---------	------	----------	-----

第51代理事長～



第51代
浅野泰司

2006年
(平成18年)

スローガン：情熱 ～可能性を追求し、共に上を目指そう～

会員数：105名

主な事業：◎長期組織ビジョン
◎ナチュラルステップ推進運動
HJJCC交流（ハワイ訪問）
JCI-ASPAC高松大会 ブース出展
公式例会 講師：岡山県知事 石井正弘氏
倉敷ファミリーカップ～めざせ！ドロンキング～
倉敷市長マニフェスト市民検証・評価大会
「山形・倉敷子ども交歓会2006」
経営力向上セミナー
「人こそ最大の経営資源」 貞方邦介氏
2006情熱 Car ニバル in Kurashiki
第61回 JCI 世界会議ソウル大会
「ジャパンナイト」ブース出展
第71回倉敷経済文化講座 講師：猪瀬直樹氏
グリーンポケットナイト2006



第52代
三宅章夫

2007年
(平成19年)

スローガン：BRIDGE YOUR TIES
すべてのつながりのために

会員数：119名

主な事業：講師例会 講師：天野高雄氏
3JCハワイ交流事業（ハワイ訪問）
講師例会 講師：森山佐恵氏
マニフェスト推進フォーラム（参議院選挙）
コーディネーター：田原総一郎氏
第57回 JCI-ASPAC チュンリー大会
ジャパンプース出展
公開例会 講師：桑原征平氏
人間力開発セミナー in 倉敷芸科大
ファミリー事業「夏の夏休み」 in 由加山
山形・倉敷子ども交歓会2007
昔なつかし木のおもちゃ手作り夏まつり
私たちのまちの歴史セミナー
「くらしき再発見」～今日から私も観光ガイド～
講師：藤野利明氏
第72回倉敷経済文化講座 講師：樋口裕一氏
ゼロ・エミッションライブ" BRIDGE07"
公開例会 講師：鬼丸昌也氏
3JCハワイ交流事業（HJJCC来倉）
子どもPK 選手権2007
倉敷つながりフェスティバル2007
クリスマス家族会
卒業生送別会



第53代
岡裕二郎

2008年
(平成20年)

スローガン：創造者たれ
・～このまちのために、そして未来のために～

会員数：138名

主な事業：◎公益社団法人化
倉敷市長選挙立候補予定者公開討論会
講師公開例会・講師・高木善之氏
3JCハワイ交流事業
公開例会・講師・西沢依里子氏
どろんこ集まれ！！～楽しさ全開 笑顔全開～
講師公開例会・講師・横田英毅氏
倉敷芸術科学大学との協定調印式
第73回倉敷経済文化講座 講師 鍵山秀三郎氏
JC実践ビジネススクール 講師 三宅孝治先輩
講師公開例会・講師・香取貴信氏
山形・倉敷子ども交歓会 2008
パソコンふれあいまなび隊
ハワイホノルル日系人JC来倉
高校生環境サミット 2008
「私たちの考えるくらしき環境ビジョン」
JC実践ビジネススクール・マネージメントゲーム
2008 倉敷自衛スタンブラー～観て・食して・体験して～
JC家族大運動会
親子で学ぼう・水上安全！



第54代
赤城惣一

2009年
(平成21年)

スローガン：一心如鏡
～心をひとつに筋ぎ、一心に邁りなす倉敷の未来。～

会員数：130名

主な事業：◎賛助企業制度導入
◎2010年宣言文策定
くらしきJCカップ子どもフットサル
選手権2009 ラモス瑠偉氏
「It's Your Choice」倉敷子ども選挙勉強会
衆議院議員選挙岡山第4区立候補予定者
マニフェスト公開討論会
わんぱく探偵くらしキッズ
in しらかべギャラリー
第38回中国地区野球大会「倉敷の陣」
ふれあいクラフト体験キャンプ2009
第74回 倉敷経済文化講座 講師 石川勝美氏
倉敷体験プログラム「ひやさい」
環境落語 しらかべ寄席'09 笑福亭銀瓶氏



第55代
小松原博幸

2010年
(平成22年)

スローガン：限界に挑戦
～なにごとにも諦めない！
最後まで背中を見せる人となれ～

会員数：118名

主な事業：講師公開例会：近藤 悦康 氏
55周年記念式典、55周年記念コンペ
3JCハワイ交流事業（ハワイ訪問）
講師公開例会：大谷 由里子 氏
山形・倉敷子ども交歓会2010
なおしま思い出づくりの旅
3JCハワイ交流事業（ハワイ来倉）
講師公開例会：カスパー・シュワーベ 氏
竹環境保全整備事業
集まれ竹っ子～環境工関「匠」
Night 誓式～夜もえーじゃろー～
第75回経済文化講座
お仕事体験プログラム「く・ら・し・こ・と」
創立55周年記念植樹式

コンテンツ一覧

HOME	倉敷JCとは	スケジュール	青年会議所とは
事業・活動報告	入会案内	メンバーズサイト	リンク
情報公開	50年の歴史	第56代理事長 所信	過去のページ
賛助企業一覧	賛助企業募集	プライバシーポリシー	お問い合わせ

🔍 サイト内を検索

検索



HOME	倉敷JCとは	スケジュール	青年会議所とは	事業・活動報告	入会案内	メンバーズサイト	リンク
------	--------	--------	---------	---------	------	----------	-----

◀◀ 2011年 1月 ▶▶

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5 ・ 第1回理 事会	6 ・ BC新年挨拶 まわり	7	8
9	10	11 ・ 新年互礼 会	12	13 ・ 会員拡大 会議	14 ・ 岡山JC賀 詞交換会	15
16	17 ・ 山形JC賀 詞交歓会	18	19 ・ 2010年度 第13回常任 理事会	20 ・ 京都会議 ・ 第2回常 任理事会	21 ・ 京都会議	22 ・ 京都会議
23 ・ 京都会議	24	25 ・ 2010年度 第13回理事 会	26	27	28 ・ 第1回議 長・委員長連 絡会議	29 ・ BC会員会 議所会議(倉 敷)
30	31					

賛助企業一覧
がんばろうNIPPON
がんばろうNIPPON

アクセスカウンタ

今日： 3

昨日： 0

今週： 3

今月： 5

総計： 32356

平均： 20

🏠 ページのトップへ

コンテンツ一覧

HOME

事業・活動報告

情報公開

賛助企業一覧

倉敷JCとは

入会案内

50年の歴史

賛助企業募集

スケジュール

メンバーズサイト

第56代理事長 所信

プライバシーポリシー

青年会議所とは

リンク

過去のページ

お問い合わせ

社団法人 倉敷青年会議所

〒710-0824 倉敷市白楽町249-5 4階

TEL：086-421-9566 / FAX：086-421-3454

e-mail：post@kurashiki-jc.or.jp

HOME	倉敷JCとは	スケジュール	青年会議所とは	事業・活動報告	入会案内	メンバーズサイト	リンク
------	--------	--------	---------	---------	------	----------	-----

青年会議所とは

● 青年会議所(JC)とは・・・？

日本全国708の地域に**約36000人の『修練』『奉仕』『友情』という三信条のもと率先して行動する仲間**がいます。半世紀以上も前から時代は変われど『明るい豊かな社会』の実現を目指す指導者たらんとる青年団体、それが**青年会議所(JC)**です。

青年会議所には、品格ある青年であれば、国籍・人種・性別・職業・宗教の区別なく、個人の意志によって入会できますが、20歳から40歳までという年齢制限を設けています。これは青年会議所が、青年の真摯な情熱を結集し社会貢献することを目的に組織された青年のための団体だからです。会員は40歳を超えると現役を退かなくてはなりません。

この年齢制限は青年会議所最大の特性であり、常に組織を若々しく保ち、果敢な行動力の源泉となっています。各青年会議所の理事長をはじめ、すべての任期は1年に限られます。会員は1年ごとにさまざまな役職を経験することで、豊富な実践経験を積むことができ、自己修練の成果を個々の活動にフィードバックさせていけます。

青年会議所におけるさまざまな実践トレーニングを経験した活動分野は幅広く、OBも含め各界で社会に貢献しています。たとえば**国会議員をはじめ、知事、市長、地方議員などの人材を輩出、日本のリーダーとして活躍中**です。

- [各地青年会議所はこちらから\(日本JCリンク\)](#)

● 青年会議所(JC)の始まりは・・・

1949年、明るい豊かな社会の実現を理想とし、責任感と情熱をもった青年有志による**東京青年商工会議所**(商工会議所法制定にともない青年会議所と改名)設立から、日本の青年会議所(JC)運動は始まりました。共に向上し合い、社会に貢献しようという理念のもとに各地に次々と青年会議所が誕生。1951年には全国的運営の総合調整機関として**日本青年会議所(日本JC)**が設けられました。

現在、全国に青年会議所があり、三つの信条のもと、よりよい社会づくりをめざし、ボランティアや行政改革等の社会的課題に積極的に取り組んでいます。さらには、**国際青年会議所(JCI)**のメンバーとして各国の青年会議所と連携し、世界を舞台として、さまざまな活動を展開しています。

● 世界中に広がる青年会議所(JC)

自由な社会と経済発展を実現し、新しい社会をリードするにふさわしい人材育成を目的として、1915年にアメリカ・ミズーリ州セントルイスに生まれた小さな青年活動グループから始まったJC運動は、その活動が認められ、アメリカの社会的活動を担う主要な青年団体へと発展していきました。

1944年には「積極的な変革を創り出すのに必要な指導者としての力量、社会的責任、友情を培う機会を若い人々に提供することにより、地球社会の進歩発展に資すること」を使命に、アメリカ、コスタリカ、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、メキシコ、ニカラグア、パナマの8カ国によって**国際青年会議所(JCI)**が発足。

その後、年々加盟国は増え、日本も1951年に加盟、JCIの一員として新たな活動の一步を踏み出しました。世界各地100カ国、会員数20万人以上の世界で最も大きな青年団体です。現役メンバーに加え約250万人以上ものOBがおり、その中にはアメリカ42代**大統領ビル・クリントン**、第7代国連事務総長**コフィー・アナン**、フランス5代首相**ジャック・シラク**も青年会議所のOBです。

毎年11月には世界会議が開催され、世界中のメンバーが一堂に会する重要な国際交流の場となっています。

- [詳しくはこちらから\(JCトップ\)](#)

- [JC用語集](#)

[🏠 ページのトップへ](#)

コンテンツ一覧

HOME	倉敷JCとは	スケジュール	青年会議所とは
事業・活動報告	入会案内	メンバーズサイト	リンク
情報公開	50年の歴史	第56代理事長 所信	過去のページ
賛助企業一覧	賛助企業募集	プライバシーポリシー	お問い合わせ

社団法人 倉敷青年会議所

〒710-0824 倉敷市白楽町249-5 4階
TEL：086-421-9566 / FAX：086-421-3454
e-mail：post@kurashiki-jc.or.jp

(C)Copyright 2010 Kurashiki Junior Chamber,Inc. All Rights Reserved.

HOME	倉敷JCとは	スケジュール	青年会議所とは	事業・活動報告	入会案内	メンバーズサイト	リンク
------	--------	--------	---------	---------	------	----------	-----

会員募集・入会案内

会員募集・入会案内

1956年に設立した社団法人倉敷青年会議所。
私たちはあなたの力を「元気なまち倉敷」づくりに求めています。
笑顔あふれるステキなまち「倉敷」を目指し社会的課題に取り組んでいます。

入会のご案内

- 私たちと一緒に「倉敷」のまちを動かしませんか？倉敷の未来のために！

社団法人倉敷青年会議所は、「元気ある倉敷」の創造を目指して、ひとづくり運動、まちづくり運動を展開しています。その原動力となっていただけの会員を募集しています。あなたも一員となって、一緒に活動してみませんか？私達社団法人倉敷青年会議所は創立以来、わがまち「倉敷」の未来のため活動しています。1956年の設立から56年の歴史を有し、「明るい豊かな社会」の実現を目指す情熱溢れる25歳から40歳までの青年で構成されている団体です。志を同じくする青年達が英知と勇気を持って、自ら率先して行動しつづけています。会員同士は様々なまちづくり運動のほかにも、クラブ活動を通じ交流を深めています。野球、サッカー、ゴルフなどクラブがありスポーツを通じた会員交流が楽しめます。また、(社)山形青年会議所やホノルル日系人青年商工会議所は姉妹JCとして長年友情を培っています。さらに青年会議所は世界114カ国17万人余の会員を擁し、国内には708もの各地青年会議所があり日本全国で約4万人もの仲間が、自分たちの暮らす地域の活性化のために日々、「修練・奉仕・友情」を三信条として掲げ活動しております。

2011年度 社団法人倉敷青年会議所は、
Think globally, Act locally 自らの壁を壊し、この倉敷(まち)に尽くそう
をテーマに、倉敷のまちの原動力となるため、ひとづくり運動、まちづくり運動を展開しております。

- 倉敷青年会議所の特徴

- 入会資格は品位ある男性・女性で、個人の意志によって入会していただきます。
- 20歳から40歳まで所属できます。(所属の残年が3年必要。よって入会時の年齢37歳が上限となります)
- 青年の真摯な情熱を結集し社会に貢献する事を目的に組織された青年のための団体です。
- 常に組織を若々しく保ち果敢な行動力をもって活動しています。
- すべての任期は1年です。(理事長含む)
- 会員は1年ごとに様々な役職を経験します。
- 自己修練の成果を個々の仕事や活動にもフィードバックして更なる活躍をしています。

- 入会資格

入会を申し込むためには、一定の資格が必要です。

1. 倉敷市及びその周辺に住所又は勤務先を有する20才以上40才未満の品格ある青年であること。
2. 青年会議所を利用して特定の思想、宗教の普及を図るなどの目的をもっていないこと。
3. 正会員2名以上の推薦を必要とし、所定の入会手続により申込を行うこと。

所定の手続きを経て入会の申し込みがあった場合であっても入会をご遠慮いただく場合もあり得ます。あらかじめご了承ください。

- 入会までの流れ

■申込み

社団法人倉敷青年会議所に入会を希望する方は、所定の入会申込書に必要書類を添付し推薦者2名以上の署名捺印の上、事務局に提出して下さい。
提出書類(入会に際しての申請書類は、事務局にございます。また、下記よりダウンロードも可能です)

■2011年度入会者募集期間について

年間を通じ常時募集しています。ただし入会時期は前期(1月1日)・後期(7月1日)となっています。

- 前期入会者募集期限 2011年 3月20日(日)まで

- 後期入会者募集開始 2011年 4月 1日(金)～

期間内に申込書類一式を添えて、事務局まで提出いただきます。

■資格審査委員会の開催

申込みのあった方が入会資格を有するかを当青年会議所役員によって書類確認し、面接いたします。

■入会承認及びオリエンテーションへの参加

理事会において入会承認後、新会員オリエンテーションを経て仮入会となります。
社団法人倉敷青年会議所の入会にあたり、青年会議所の基礎知識を学んでいただき、先輩方の講演を通じ熱い思いを感じいただきます。社団法人倉敷青年会議所の55年の歴史の中で受け継いだ精神と活動の意義を理解していただきます。
その後6ヶ月は研修期間として様々な青年会議所活動を通じ「修練・奉仕・友情」の三信条を学んでいただきます。6ヶ月後の理事会にて承認を受け正会員となります。

■入会金と年会費について

1. 入会金 正会員 金 50,000円

2. 年会費 正会員 金 130,000円

- よくあるご質問

[Q1] 青年会議所とは？

1949年、明るい豊かな社会の実現を理想とし、責任感と情熱をもった青年有志による東京青年商工会議所(商工会議所法制定にともない青年会議所と改名)設立から、日本の青年会議所(JC)運動は 始まりました。
共に向上し合い、社会に貢献しようという理念のもとに各地に次々と青年会議所が誕生。1951年には全国的運営の総合調整機関として日本青年会議所(日本JC)が設けられました。
現在、全国に青年会議所があり、三つの信条のもと、よりよい社会づくりをめざしボランティアや行政改革等の社会的課題に積極的に取り組んでいます。さらには、国際青年会議所(JCI)のメンバーとして各国の青年会議所と連携し、世界を舞台としてさまざまな活動を展開しています。

[Q2] 入会審査があると聞きましたが選考基準はあるのですか？

青年会議所活動の趣旨に賛同する、良識を持った健全な青年であれば入会可能です。
倉敷青年会議所では入会資格に関して別途内部規定を設けており、これに基づき最終的に選考されます。

[Q3] 経営者ではないですが入会できますか？

経営者だけを対象とする団体ではありません。「まちづくり」や「ひとづくり」といった青年会議所活動は、経営者か否かは関係ありません。

[Q4] 仕事の都合ですべての会合への出席は無理だと思うのですが？

倉敷青年会議所では例会や委員会、様々な事業に出席・参加することにより、社会や人間関係、指導力を育むなど自らの開発に役立つ多くの学びや気づき得られる機会に巡り会えます。
忙しい中で、仕事とJCでの活動を効率的に両立させることにより、自分自身の成長につながります。

[Q5] 商工会議所とはどこが違うのですか？

商工会議所では、地区内における商工業の総合的な改善発達を図り、社会福祉の増進に資することを目的に活動しています。
青年会議所は、公益性を重んじた社会開発を行うことを主な目的としており、社団法人として認可された団体です。会員登録は法人ではなく個人となります。

[Q7] JCの特徴は何ですか？

青年会議所を他の団体から区別する最大の特徴は年齢制限にあります。年齢が満20歳から40歳までであり何よりも「品格のある青年」でなければならないのです。
また、役員・組織・事業等の「単年度制」、そして会員は自分の住んでいるまたは、職場のある都市の青年会議所に所属すること。以上が主な特徴です。

- 社団法人 倉敷青年会議所

倉敷市白楽町249番5 倉敷商工会館内
Tel:086-421-9566(直通) 086-424-2111(代)
Fax:086-421-3454
Mail:post@kurashiki-jc.or.jp
Web:www.kurashiki-jc.or.jp

- 入会用書類ダウンロード

>> 入会申込書

>> 身上書原稿

>> 入会希望者推薦カード

コンテンツ一覧

HOME

事業・活動報告

情報公開

賛助企業一覧

倉敷JCとは

入会案内

50年の歴史

賛助企業募集

スケジュール

メンバーズサイト

第56代理事長 所信

プライバシーポリシー

青年会議所とは

リンク

過去のページ

お問い合わせ

 サイト内を検索

検索



HOME

倉敷JCとは

スケジュール

青年会議所とは

事業・活動報告

入会案内

メンバーズサイト

リンク

メンバーサイトのご案内

	フォトアルバム共有サイト
	メンバー掲示板 投稿しよう!
	出欠確認の返信はこちらから

賛助企業一覧

がんばろうNIPPON

がんばろうNIPPON

アクセスカウンタ

今日：**3**

昨日：**0**

今週：**3**

今月：**5**

総計：**32356**

平均：**20**

 [ページのトップへ](#)

コンテンツ一覧

HOME

事業・活動報告

情報公開

賛助企業一覧

倉敷JCとは

入会案内

50年の歴史

賛助企業募集

スケジュール

メンバーズサイト

第56代理事長 所信

プライバシーポリシー

青年会議所とは

リンク

過去のページ

お問い合わせ

社団法人 倉敷青年会議所

〒710-0824 倉敷市白楽町249-5 4階

TEL：086-421-9566 / FAX：086-421-3454

e-mail：post@kurashiki-jc.or.jp

(C)Copyright 2010 Kurashiki Junior Chamber,Inc. All Rights Reserved.

検索



HOME	倉敷JCとは	スケジュール	青年会議所とは	事業・活動報告	入会案内	メンバーズサイト	リンク
------	--------	--------	---------	---------	------	----------	-----

リンク

- 社団法人日本青年会議所

公益社団法人 日本青年会議所
中国地区協議会
岡山ブロック協議会

- 姉妹締結青年会議所

社団法人 山形青年会議所
ホノルル日系人青年商工会議所

- 社団法人日本青年会議所

社団法人 岡山青年会議所
社団法人 児島青年会議所
社団法人 玉島青年会議所
社団法人 笠岡青年会議所
社団法人 津山青年会議所
社団法人 玉野青年会議所
社団法人 西大寺青年会議所
社団法人 井原青年会議所
社団法人 真庭青年会議所
社団法人 備前青年会議所
社団法人 新見青年会議所
社団法人 総社青年会議所
社団法人 高梁青年会議所
社団法人 美作青年会議所

賛助企業一覧

がんばろうNIPPON

がんばろうNIPPON

アクセスカウンタ	
今日：	3
昨日：	0
今週：	3
今月：	5
総計：	32356
平均：	20

[🏠 ページのトップへ](#)

コンテンツ一覧

HOME	倉敷JCとは	スケジュール	青年会議所とは
事業・活動報告	入会案内	メンバーズサイト	リンク
情報公開	50年の歴史	第56代理事長 所信	過去のページ
賛助企業一覧	賛助企業募集	プライバシーポリシー	お問い合わせ